

平成 22 年 5 月 27 日
東日本高速道路株式会社

ゴールデンウィーク期間における高速道路の交通概況について
～平成 22 年 4 月 28 日（水）から平成 22 年 5 月 9 日（日）：12 日間～

NEXCO 東日本のゴールデンウィーク期間（以下 GW 期間という）の交通量等について取りまとめましたので報告いたします。

1. 交通量の状況（GW 期間）

1) 1 日あたりのご利用台数（高速道路）

- ・ 高速道路のご利用台数は 1 日あたり 153.9 万台（前年比+4.9%）となりました。
- ・ 都市部は+3.7%、地方部は+5.6%と地方部で増加する結果となりました。

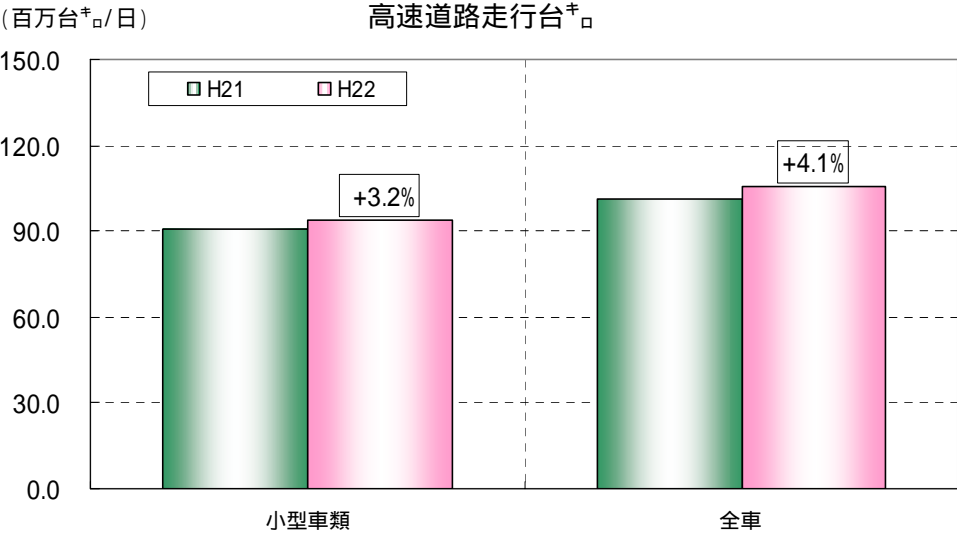
【1 日あたりのご利用台数】 （台）

高速道路計		今年	昨年	対前年比		
		1,539,093	1,467,635	104.9%		
主な道路	道央自動車道	112,214	106,785	105.1%		
	東北自動車道	313,172	301,928	103.7%		
	常磐自動車道	183,202	173,523	105.6%		
	東関東自動車道	153,518	148,037	103.7%		
	東京外環自動車道	155,443	147,060	105.7%		
	関越自動車道	195,468	188,858	103.5%	都市部	103.7%
	北陸自動車道（ ）	50,292	49,652	101.3%	地方部	105.6%

朝日 I C ~ 新潟中央 J C T 間のご利用台数です。

2) 走行台[※]の推移（高速道路）

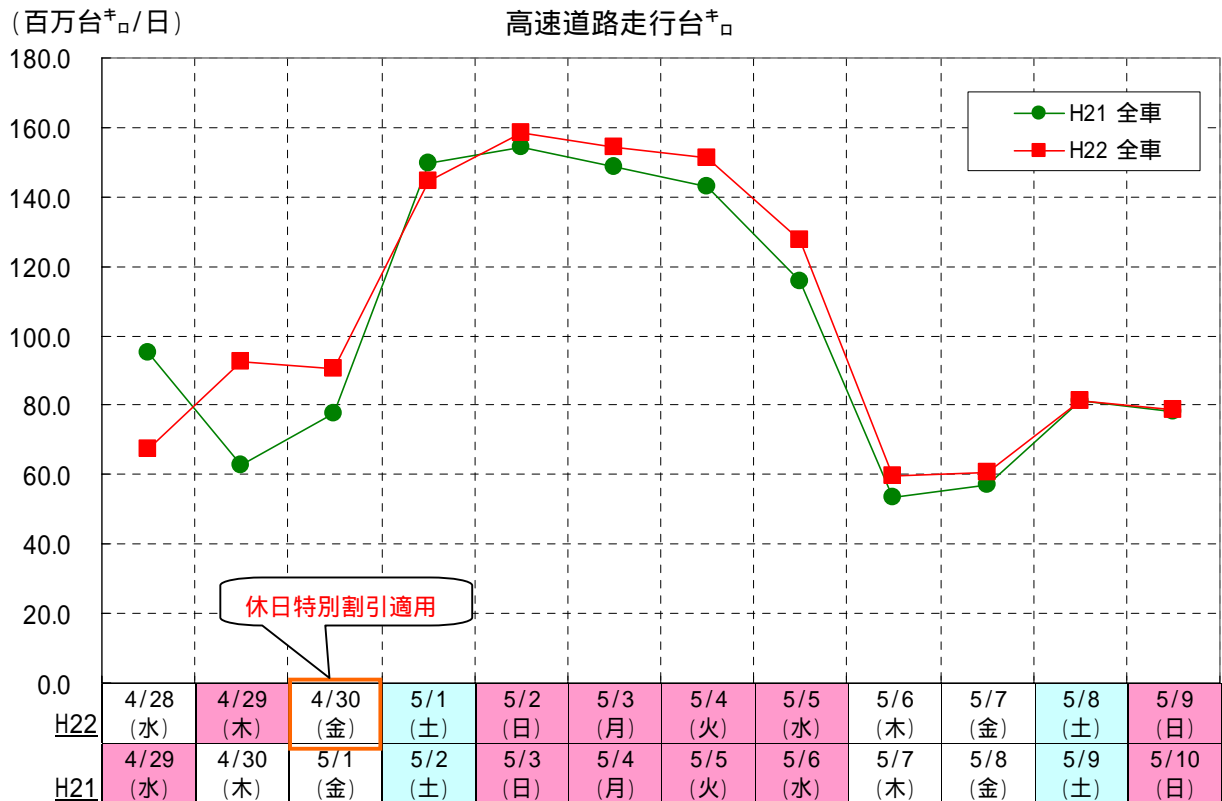
- ・ 管内高速道路の走行台[※]は昨年同時期に比べ、小型車は+3.2%、全車は+4.1%の増加となりました。



H21：4/29（水）～5/10（日）の 12 日間平均、H22：4/28（水）～5/9（日）の 12 日間平均（速報値）

< 日別走行台[※]の推移 >

- ・ 今年は、4 / 3 0 (金)に休日特別割引を適用したこともあり前半は分散傾向となりました。
- ・ 後半は、昨年と比べて天候に恵まれたこともあり上回る結果となりました。



3) 高速道路平均走行距離 (GW期間小型車 速報試算値)

- ・ 小型車の平均走行距離は、昨年同時期に比べ 1.5 km 減少し、63.0 km (2.3%) となりました。

【平均走行距離(小型車)】

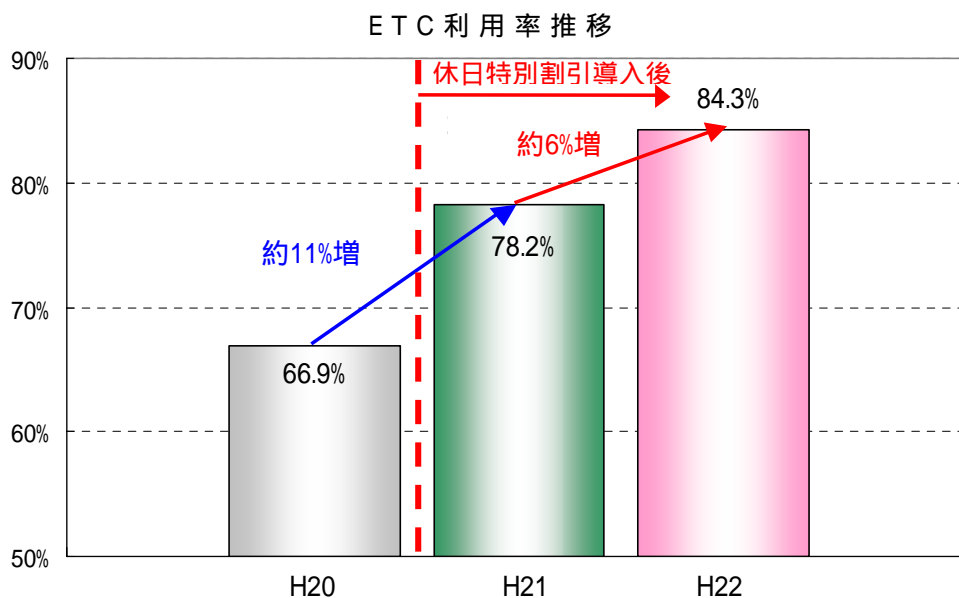
	GW期間	(参 考)
H21	4/29-5/10	4月
H22	4/28-5/9	4月
H21	64.5km	45.2km
H22	63.0km	44.9km
差 (%)	1.5km (2.3%)	0.3km (0.5%)

注) 平均走行距離は、一定の補正率を用いた速報試算値

平均利用距離が減少していることから今年のGW期間は、昨年と比べ近距離利用の交通が増加したものと考えられます。

. ETC 利用率 (GW期間)

- ・ GW期間については昨年3月の休日特別割引導入以降、増加しています。
- ・ ETC利用率は、昨年同時期に比べ+6.1%の増加となりました。



注) ETC利用率は利用台数(全車)による

H20: 4/29(火)~5/10(土)の12日間、H21: 4/29(水)~5/10(日)の12日間、

H22: 4/28(水)~5/9(日)の12日間(速報値)

. GW期間の交通特色

1) アクアラインの交通量 (GW期間)

- ・ アクアラインの交通量は昨年同時期と比較して約5,100台/日(+14%)の増加となりました。

(川崎浮島ジャンクション~海ほたるパーキングエリア間)

	日平均交通量	対前年増加台数	対前年増加率
H22	41,500台/日	+5,100台/日	114%
H21	36,400台/日	+8,900台/日	132%
最大交通量	H22GW期間 57,300台/日 5/3(月・祝)		

注) 交通量は、ETC車以外も含む全車種合計の断面交通量(トフィックカメラ[道路に備え付けられている交通量(概数)の自動計測装置])による

H21: 4/29(水)~5/10(日)の12日間平均、H22: 4/28(水)~5/9(日)の12日間平均(速報値)

2) 主な行楽地のインターチェンジご利用台数 (GW期間 対前年比)

- ・ 期間中は天候に恵まれ多くのお客様にご利用いただきました。北東北方面は桜の開花が昨年に比べ10日間程度遅れ、GW期間中に見ごろを迎えたことから、特に増加しました。
- ・ 「弘前さくらまつり」会場へのアクセスとなる東北道 大鰐弘前IC (+57%) は大幅な増加となりました。(満開日 5/2 昨年に比べ10日遅れ)
- ・ 「角館桜まつり」会場へのアクセスとなる秋田道 大曲IC (+54%) も同様に大幅な増加となりました。(満開日 5/4 昨年に比べ10日遅れ)

満開日は、日本気象協会資料より

行楽地のインターチェンジご利用台数(出口料金所を通過した台数)

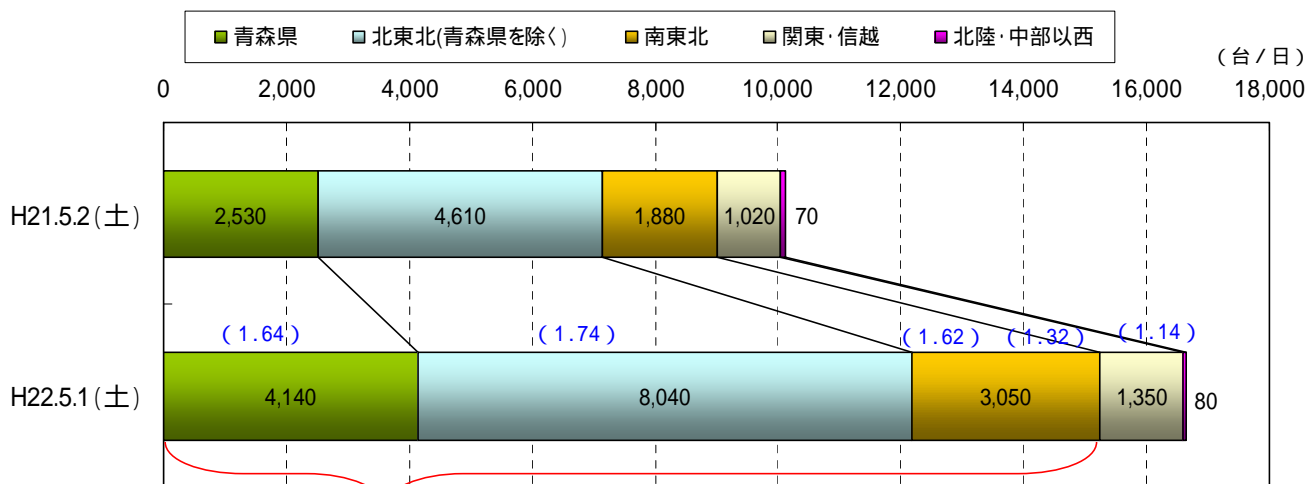
路線名	IC名	IC所在地	ご利用台数(5日間平均) (単位:台/日)		対前年比	備考
			H22	H21		
道央自動車道	旭川鷹栖	北海道	7,267	6,354	114%	
東北自動車道	大鰐弘前	青森県	7,447	4,754	157%	弘前さくらまつり
秋田自動車道	大曲	秋田県	4,725	3,076	154%	角館桜まつり
東北自動車道	仙台宮城	宮城県	14,099	14,476	97%	
山形自動車道	山形蔵王	山形県	8,140	7,549	108%	
磐越自動車道	猪苗代磐梯高原	福島県	4,309	4,271	101%	
東北自動車道	西那須野塩原	栃木県	5,296	5,328	99%	
上信越自動車道	碓氷軽井沢	群馬県	8,145	7,980	102%	
上信越自動車道	長野	長野県	12,272	13,755	89%	H21善光寺御開帳
館山自動車道	富津中央	千葉県	2,496	1,952	128%	

H21: 5/2(土)~5/6(水)の5日間平均、H22: 5/1(土)~5/5(水)の5日間平均(速報値)

<東北道 大鰐弘前ICのインターペア分析(対前年比較)>

- ・ 昨年に比べて関東・信越から3割増加しました。
- ・ 特に東北からの交通が6~7割増加する結果となりました。

東北自動車道 大鰐弘前ICのブロック別インターペア



東北方面からの交通量が増加

・ 渋滞の発生状況（GW期間）

- ・ 渋滞長が10km以上となる渋滞の発生回数は123回（2%）とほぼ前年並となりました。
- ・ 渋滞長が30km以上となる渋滞の発生回数は20回（+33%）と増加しました。

【渋滞回数】 10km以上の渋滞回数は、30km以上の渋滞回数を含む

渋滞区分	H22	H21	対前年比 H22/H21
10km以上	123回	126回	98%
30km以上	20回	15回	133%

H21：4/29（水）～5/10（日）の12日間累計、H22：4/28（水）～5/9（日）の12日間累計

今年の主な渋滞箇所

区分	ワースト	道路名	渋滞日時 (ピーク)	渋滞発生箇所	渋滞延長	渋滞要因
下り線		東北道	5月1日(土) 9:50頃	フクシマ 福島TN付近	54.8km	交通集中及び事故
		関越道	5月2日(日) 7:30頃	ハナソノ 花園IC付近	49.7km	交通集中及び事故
		東北道	5月1日(土) 13:05頃	イチノセキ 一関TN付近	47.1km	事故及び交通集中
上り線		東北道	5月4日(火) 19:10頃	ヒライズミ 平泉TN付近	42.7km	交通集中
		東北道	5月4日(火) 16:25頃	エイタ 矢板IC付近	42.5km	交通集中及び事故
		東北道	5月3日(月) 13:55頃	フクシマ 福島TN付近	39.0km	交通集中

昨年の主な渋滞箇所

区分	ワースト	道路名	渋滞日時 (ピーク)	渋滞発生箇所	渋滞延長	渋滞要因
下り線		東北道	5月2日(土) 6:50頃	エイタキタ 矢板北PA付近	55.2km	交通集中及び事故
		関越道	5月3日(日) 8:15頃	ハナソノ 花園IC付近	52.6km	交通集中及び事故
		常磐道	5月3日(日) 12:50頃	トモベ 友部JCT付近	43.9km	交通集中及び事故
		常磐道	5月4日(月) 11:55頃	トモベ 友部JCT付近	43.9km	事故及び交通集中
上り線		東北道	5月4日(月) 18:00頃	カミカワチ 上河内SA付近	42.7km	交通集中及び事故
		東北道	5月5日(月) 18:00頃	フクシマ 福島TN付近	39.6km	交通集中
		東北道	5月4日(月) 16:10頃	クニミ 国見IC付近	37.0km	交通集中

IC：インターチェンジ JCT：ジャンクション SA：サービスエリア
PA：パーキングエリア TN：トンネル